令和元年度　卒業先輩の話を聞く会

実施日	令和元年６月２７日（木）
講　師	平成２７年度卒業生 熊谷有美香さん、佐藤　美花さん、髙橋　郁也さん、小金森優弥さん 及川　葵さん、髙橋　拓希さん
対　象	全校生徒

卒業生６名を迎えて、座談会形式で高校時代の様子や勉強方法、進路先を決め、合格や内定するまでを話して頂いた。進路先は、大学、短大、大学校から就職まで様々であるが、卒業生は自分の選んだ道をまっすぐに進んでいました。また在校生から沢山の質問があり、充実した２時間でした。

【生徒の感想】

〇先輩方の話している姿を見て、やはり社会に出ると高校生とは何か違ったものを得るんだと感じた。高校生では体験できないことを学習し吸収するんだと感じた。

私は進学を希望しているが、進学した先輩の話に共通していたのが、サボらない、時間の使い方、授業の受け方、自分の考えをまとめ言葉にする力の４つだった。現在は意識してできているものもあるが、現状に満足せず自分のもの、力にできるようにしたい。

〇先輩の話を聞いて、自分が今どのような状況にあるのかを改めて実感させられました。私は今、小論文を書き始めたばかりで何をどう具体的に書いてよいか不安なままだったのですが、自分の希望分野に近い話題を書くということ、進学先の過去問を取り寄せて練習した方が良いというアドバイスを頂いたので、実際に実行してみようと思いました。私は８月半ばにはエントリーシートを提出しなければならないので、それに向けて自分自身に問いつめ、希望する学校の知識を深めたいと思いました。

〇今回先輩の話を聞いて、私はまず、もう目と鼻の先にあるＡＯ入試に向けての小論文の練習や面接を頑張っていこうと思いました。私の進みたい学科では少し変わった面接形式なので、それに対応できる材料探しから始めて、平行して小論文も何度も何度も担当の先生に提出していきたい。そしてあと２か月後にあるＡＯ入試に向けて心配な所がない状態で、自信をつけて入試を迎えたい。

〇１、２年生の時に聞いた先輩の話は、自分のことのようにピントくることがありませんでしたが、３年生になり進路を決めてからどのように行動すればよいのか、どのような準備を事前にしておくべきかが分かりました。特に自分がしたい事をしているからこそ今の自分の居場所があることが分かりました。自分の将来にとってとてもためになる話でした。

熊谷　有美香さん

佐藤　美花さん

髙橋　郁也さん

小金森優弥さん

及川　葵さん

髙橋　拓希さん